

愛知大学入学試験 出題意図

試験日	2026年2月2日
入試種別	一般入試
科目	国語

大問〔一〕

現代文の論理的文章を扱う問題です。宇野浩二『蔵の中』を題材として、作家の表現意図やその文学史的意義について、比較的平易な文章で論じた文芸評論からの出題です。この小説独自の「語り」のスタイルに関する、発表当時の世間の評価と、筆者の解釈・評価との関係を、正確に理解できているかどうかを主な評価ポイントとなります。また、漢字や語彙、文学史に関する基礎的知識を問う設問もあります。

大問〔二〕

現代文の論理的文章を扱う問題です。日本の大都市が「鉄道都市」として発展してきたこと、そして、その「鉄道都市」を支える定時運行は鉄道マナーをめぐる人々の実践を通して可能になってきたことを論じています。文章自体は平易ですが、その論理展開を正しく理解できるかを問う設問としました。また、漢字や語彙に関する基礎的な知識を問う設問も設けています。

大問〔三〕

古文に関する問題です。古文の基礎的な語彙や文法・読解力を問うとともに、物語の内容を正確に理解しているか、引き歌との関係を考慮に入れて文意を把握することができるかを問う設問です。また、基礎的な文学史の知識も必要となります。総じて物語の場面のみならず、登場する人物の心情を正確に読み取る力が評価の対象となります。

大問〔四〕

この問題では、漢文の基礎的語法や助字の基礎的用法といった知識に加え、文章の記述内容（ストーリー）を把握する読解力、日本語の熟語の成立を分析する力、さらに漢文を円滑に読み進める力など、総合的な能力を問うています。全体として、漢文に向き合う思考力と態度が身につけていれば、解答に大きな困難はないと考えられます。本問題は、これらの能力を漸次的に点数化できるよう、各種レベルの問題を配置しています。

本件に関するご質問・お問い合わせにつきましては、個別での回答はいたしかねます。